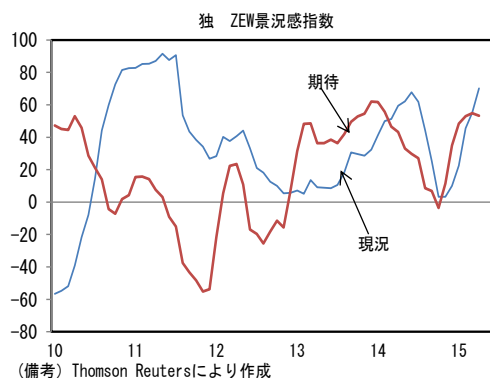


【海外経済指標他】～現況はダブル・ボーナスを反映～

- ・ 4月ZEW景況感指数の「期待」は53.3と市場予想（55.3）に反して前月（54.8）から軟化。6ヶ月ぶりの軟化だが、高水準を維持しているうえ、株高一服が影響した可能性があり、悲観する必要性に乏しい。当調査の回答者は、一般事業会社ではなくエコノミスト、アナリストであるが故、金融市場の影響を受け易いという特徴に留意する必要がある。調査期間末期の独DAXは調査期間中のピーク水準から約5%下落していたため、これが回答に影響した可能性がある。また、「既に高水準にある現状と比較して一段の改善は困難」というややテクニカルな要因が関係している可能性もある。一方、「現状指数」は70.2と市場予想を遥かに上回り2011年7月以来の高水準に到達。原油安・ユーロ安のダブルボーナスを再認識させる結果だ。



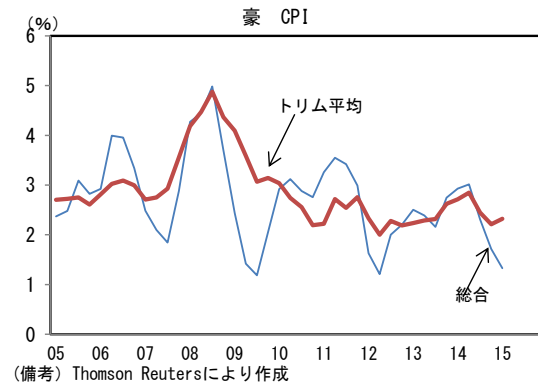
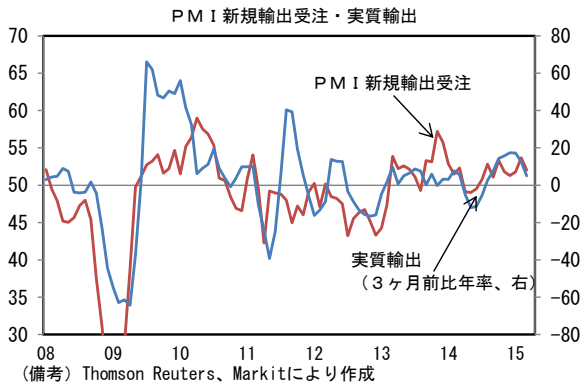
【海外株式市場・外国為替相場・債券市場】

- ・ 前日の米国株は反落。米指標の公表は無かったが、この日発表された幾つかの企業決算がやや失望的で売り優勢。他方、欧州株は大半の国が反発。
- ・ 前日のG10通貨はJPYの弱さが目立った。浜田内閣参与の円安容認発言などを受け日本時間は一貫してJPY売りが優勢。USD/JPYは一時120に迫った。
- ・ 米10年金利は+1.9bpの1.909%。取引動意に乏しくナローレンジに終始。欧州債市場は区々。ギリシャ10年金利は35.4bp上昇したが、イタリア、スペイン金利は低下。

【国内株式市場・経済指標他】～貿易収支：黒字化～

- ・ 日本株は中国の金融緩和を好感する動きに加え、日本企業に対する既往の業績・増配・自社株買い期待などから買い優勢。日経平均は2万円回復（12：40）。
- ・ 3月貿易統計によると輸出金額は前年比+8.5%、輸入金額は▲14.5%となった。輸出は予想に一致したが、輸入が予想以上に減少したため、貿易収支は原数値で2293億円、季節調整後で33億円と予想外に黒字転化。1-3月期は春節要因により攪乱されるため基調が把握しにくいだが、昨秋を起点とする「輸出増・輸入減」は途切れていない。先行きも、原油の輸入金額は少なくとも5月頃までは減少し続けると考えられることから、貿易収支も改善傾向を維持するとみられる。

- ・輸出を物価調整と季節調整を施した実質輸出（当社算出）でみると前月比+1.6%と反発。春節によって大幅に変動した1・2月と均してみると増加基調にあり、四半期ベースでは年率+6.6%増加している。ただ、先行きについては米国経済がソフトパッチの様相を呈するなど輸出先の需要鈍化が懸念材料。これを裏付けるようにPMI新規輸出受注も軟化しており、モメンタム加速に疑問を投げかけている。
- ・豪CPI（1Q）は前期比+0.2%、前年比+1.3%と概ね市場予想に一致。一方、トリム平均は前期比+0.6%、前年比+2.3%と市場予想（前期比+0.6%、前年比+2.2%）よりも強い内容となった。RBAがAUD安誘導を止める可能性は低いものの、市場で燻っている5月の利下げ観測を幾分後退させる結果だ。



【注目点】

- ・昨日、政府は日銀審議委員の人事案として、6月末で任期切れとなる電力大手出身の森本宜久氏の後任に自動車最大手相談役の布野幸利氏を任命する案を提示した。森本氏は昨年10月のサプライズ緩和に反対票を投じたほか、講演等では行き過ぎた円安を招くとして（更なる）追加緩和に消極的な姿勢を示して経緯がある一方、布野氏はその出身業界から判断して円安に寛容というイメージが強くハト派の印象だ。布野氏の加入によって目先の追加緩和の可能性が高まることはないと思われるが、やや長い目でみれば、海外発のリスクオフなど不測の事態が生じた際に、日銀が追加緩和を発動し易くなることは確かだ。
- ・本日の日経報道にもあるように4月30日の会合では物価見通しの引き下げが見込まれるものの、追加緩和の可能性は低い。コアCPIはマイナス圏に突入する可能性が高いとはいえ、その大部分が原油安で説明可能で、かつ日銀が重視している期待インフレも1%程度まで持ち直しているためだ。黒田総裁がよほどの奇策を採用しない限り現状維持が想定される。

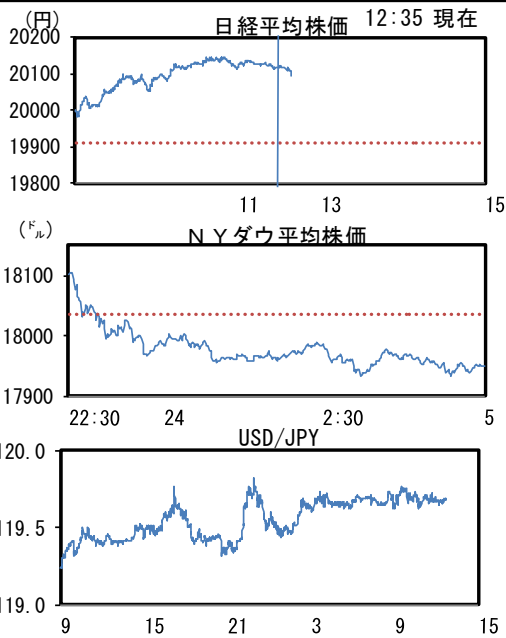
<主要株価指数>		
	終値	前日比
日経平均※	20103.23	194.14
N Y ダウ	17,949.59	-85.34
D A X (独)	11,939.58	47.67
FTSE100 (英)	7,062.93	10.80
CAC40 (仏)	5,192.64	5.05

<外国為替>※		
USD/JPY	119.68	0.01
EUR/USD	1.0723	-0.00

<長期金利>※		
日本	0.309 %	-0.006 %
米国	1.909 %	0.019 %
英国	1.567 %	0.000 %
ドイツ	0.101 %	0.026 %
フランス	0.369 %	0.012 %
イタリア	1.452 %	-0.033 %
スペイン	1.450 %	-0.014 %

<商品>		
N Y 原油	55.26 ^{ドル}	-1.12 ^{ドル}
N Y 金	1202.90 ^{ドル}	9.40 ^{ドル}

※は右上記載時刻における直近値。図中の点線は前日終値。
(出所) Bloomberg



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。